

鴨川市総合計画審議会第3回会議 会議録

■開催日時・場所・出席者

日時：平成 27 年 5 月 18 日（月）午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで

場所：鴨川市役所 4 階大会議室

出席者：以下のとおり

【出席委員】

No.	区 分	氏 名	備 考
1	1 号委員 (識見者)	相原 一彦	鴨川市漁業協同組合 代表監事
2	同上	梶 恵子	鴨川市民生委員児童委員協議会 民生委員・児童委員
3	同上	齋藤 守彦	鴨川市男女共同参画推進審議会 委員
4	同上	清水 宏	鴨川市商工会 理事
5	同上	鈴木 健史	一般社団法人 鴨川市観光協会 会長
6	同上	関 寛之	株式会社 ちばぎん総合研究所 受託調査部 副部長
7	同上	中山 恵美子	医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院 救命救急科 医師（災害医療コーディネーター）
8	同上	花山 藤太郎	鴨川市体育協会 会長
9	同上	原 政子	人権擁護委員
10	同上	村松 智子	鴨川市行政改革推進委員会 委員
11	同上	安田 耕太	鴨川市 6 次化研究会 会長
12	同上	吉村 敦広	一般社団法人 鴨川青年会議所 理事長
13	同上	米林 喜男	学校法人 鉄蕉館 亀田医療大学 教授
14	同上	渡邊 榮一	鴨川市福祉作業所 所長
15	同上	川上 雅弘	公募委員

16	2号委員 (市議会議員)	辰野 利文	鴨川市議会 議長
17	同上	庄司 朋代	鴨川市議会 副議長

(順不同、敬称略)

【欠席委員】

No.	区 分	氏 名	備 考
1	1号委員 (識見者)	渡辺 淳一	学校法人 城西大学 城西国際大学観光学部 学部長

【市行政関係者】

所属・職	氏 名	備 考
鴨川市企画政策課 課長	平川 潔	事務局
〃 課長補佐	石井 宏子	〃
〃 地域戦略係長	滝口 俊孝	〃
〃 政策推進係長	藤代 公貴	〃
〃 政策推進係員	町田 啓	〃
〃 〃	犬石 貴久	〃

【委託事業者】

2名

【傍聴者】

4名

■配布資料

- ・次第
- ・席次表
- ・出席者名簿
- ・資料1 まちづくりの基本理念及び将来像について
- ・資料2 地方人口ビジョン及び地方版総合戦略について
- ・鴨川市総合計画審議会第2回会議 会議録

■会議要旨

1 開会（午後 1 時30分）

事務局から会議の成立について報告。

配布資料の確認。

事務局職員の自己紹介。

2 会長あいさつ

（要旨）

本日の会議では、総合計画におけるまちづくりの基本理念及び将来像のほか、地方人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定に係る審議方法についても諮らせていただく予定である。

委員各位からは、前回に引き続き積極的なご意見をお願いしたい。

3 議事

鴨川市総合計画審議会設置条例第 5 条第 1 項の規定に基づき、清水会長を議長として議事を進行。

議長から本日の会議の議事録署名人として、関委員及び中山委員が指名された。

【議事 1】 まちづくりの基本理念及び将来像について

事務局より資料 1 に即して説明。

委員からの意見等については、次のとおり。

（安田委員）

まちが衰退していく中で、少なくとも現状を維持していきたいと考えた場合、すべての施策を均等に実施するというのは現実的ではないが、本市はどこに重点を置くのか。

（清水会長）

次回の会議以降で、重点施策について審議を行う予定である。

（原委員）

将来像で「自然と活力あふれる」とあるが、「あふれる」は「自然」と「活力」の両方にかかるものなのか。

また、将来像において「かもがわ」と平仮名で表記した意図を教えてください。

（事務局・平川）

「あふれる」については、「自然」と「活力」の両方にかかるものである。

また「かもがわ」の平仮名表記については、市民と共有すべき将来像の設定であることに鑑み、柔らかいイメージで表現をしたいものである。

(原委員)

並列での扱いには違和感がある。また「かもがわ」の表記については漢字の方が良い。

(中山委員)

「自然と活力あふれる」は、自然に活力があふれてくるものと解釈されてしまうのでは。

(原委員)

中山委員と同感である。若い世代の方々は「自然と・・・する」と使っている。

(梶委員)

「自然と活力あふれる」を「豊かな自然と活力あふれる」に修正してはどうか。

(鈴木委員)

資料の案では「自然と」がオートマチックの意味に解釈されてしまうが、「豊かな」を加えることで並列になる。

(清水会長)

それでは、将来像の頭に「豊かな」を加えていただくことを提案することとする。

(安田委員)

「かもがわ」の表記の方法について、漢字の方が鴨川市と特定できて良いのではないか。

(村松委員)

漢字のほうが分かりやすい。平仮名ではどこの「かもがわ」を指すのか分からない。

(梶委員)

仮に漢字とした場合、「交流都市鴨川」となり語尾が漢字ばかりで将来像が堅くなってしまふ。スペースを挿入して「交流都市 鴨川」とするなどの工夫が必要ではないか。

(花山委員)

併せて「都市」という文言についても、田舎らしい表現に修正できないか。

(関委員)

「かもがわ」を漢字で表記することに関しての議論であるが、柔らかみのある表現も捨てがたいところである。「都市」という文言の取扱いも含め、折衷案として「交流のまち鴨川」としてはどうか。

(川上委員)

広報かもがわの表紙は平仮名、ふるさと回帰支援センターに配架してあるパンフレットも平仮名で扱っているのです、個人的にはひらがなの表記で良いと思う。

(鈴木委員)

将来像の表現は、本市を小ぢんまりとした「まち」にしたいのか、それとも活気あふれる「都市」としたいのかで違って来る。

(安田委員)

本市は安房地域の中核都市として生き残ってほしい。そういった観点から「都市」という表現自体に問題はないと考える。

(花山委員)

豊かな自然があり、食べることに不自由しない。このようなすばらしい環境の中で、子どもたちに大らかに育ってもらいたいという想いから「都市」ではなくもっと柔らかい表現を求めている。

(鈴木委員)

そういった面も大事だとは思いますが、何よりもこの地で「就労」できることが生活上の安心や元気の源になるのではないかと。若い世代の方々に定住してもらうことを考えれば、企業誘致を含めた産業の活性化をより一層進める必要があることから、「都市」という機能性を備えた文言を用いた方が良いと考える。

(庄司委員)

もう一つの選択肢として、「都市」「まち」といった表現を除いた場合の「健やかに交流していく鴨川市」などが考えられる。

(中山委員)

また違った発想で「鴨川」を将来像の頭に加えた場合の「鴨川市 豊かな自然と活力あふれる健やかな交流の地」なども考えられる。

(米林副会長)

「都市」「まち」に係る表現の方法については、国の総合戦略においても「まち・ひと・しごと」とひらがなで統一されている。

優しく表現したいのであれば「まち」でも差し支えないと考える。しかし、過去の計画では本市を「都市」と表現していることも事実である。

(原委員)

「まち」がひらがなで使われ始めたのは、生活基盤を含め自分たちでまちを創造していくことが始まりだと思うので、ひらがなの「まち」でも、都市のイメージを損なうことはないのではないかな。

また「豊かな自然と活力あふれる健やか・・・」とあるが、「健やか」は「活力あふれる」に含まれると考えられるので、「豊かな自然と活力あふれる交流のまち鴨川」とまとめることができる。

この場合、サブタイトルの「ずっと住みたいまち」は、もう少し具体的なイメージを持てる表現にした方がよい。

(安田委員)

様々なご意見があるとは思いますが、資料の案は基本理念もしっかりと考慮されており、基本的な部分は良いのではないかな。

(鈴木委員)

将来像の細かな部分については、基本計画を審議していく過程の中で、改めて検証することとしてはどうか。

(原委員)

鈴木委員に賛成である。

(清水会長)

事務局に伺うが、将来像の原案は本日決定しないといけないのか。今後細かなところの微調整は可能であるか。

(事務局・町田)

あくまでも原案なので、これで決定というわけではない。微調整は可能である。

(事務局・平川)

将来像は、今後、施策等を検討していく上での指標となるため、方向性については本日決定をしていただきたい。

(清水会長)

基本理念は、前回会議の結果を反映した上での案であることから、各委員からも特段の意見は無い。将来像については、資料の案を向かうべき方向性として決定し、今後、委員各位のご意見を基に若干の修正を加えていくこととする。

(庄司委員)

修正の中で、ふるさと鴨川への郷土愛に関する文言を盛り込んでいただきたい。

(齋藤委員)

基本理念に新たに追加する「安心」について、将来像で「健やか」と表現するのはあまり好ましくない。本市のまちづくりの方向性を踏まえ、「安心」「安全」などの表現を将来像に反映していくべきである。

(関委員)

一般的には「安心・安全」と表現がされているところであるが、「安心」には福祉のイメージ、「安全」には防災のイメージがある。本日の資料によると、基本理念の「安心」とは、安全で健やかと解釈をされていることから、福祉を重視しているように見受けられる。

安心して暮らせる福祉のまちを目指すのであればこのままで良いが、防災力の向上も重視するのであれば、「健やか」だけでは表現が足りない印象を受ける。

(吉村委員)

やはり防災の分野は重視していくべきである。その観点からも文言による表現の方法については、「健やか」よりは「安心」ではないか。

(庄司委員)

ハード面における「安全」をなくして精神面での「安心」はない。新たに「安心」という文言を盛り込むのであれば「健やか」という表現は不要になるのではないか。また「安心」の文言についてはサブタイトルに盛り込むという手もある。

(事務局・平川)

本日の審議結果について確認したい。基本理念に関しては承認されたものと認識している。将来像については、「自然」の前に「豊かな」の文言を加えること、「都市」を「まち」という表現に修正すること、「かもがわ」を漢字の「鴨川」に修正すること、ふるさと鴨川への郷土愛に関する文言を盛り込むこと、「健やか」について安心の観点を踏まえ表現の方法を再度検討すること、以上のご意見を踏まえ、将来像全体について再度調整をさせていただくこととしたい。

(清水会長)

よろしくお願いします。

【議事２】 地方人口ビジョン及び地方版総合戦略について

事務局より資料２に即して説明。

第４回会議からの審議会委員の追加及び総合計画との並行審議について承認された。

委員からの意見等については、次のとおり。

(安田委員)

策定スケジュールについて、住民懇談会やパブリックコメントで出された意見等はどのように反映していく予定なのか。

(事務局・平川)

9～10月を目途に地方人口ビジョン及び地方版総合戦略の原案を作成するが、その過程において住民懇談会、パブリックコメントで出された意見等を反映し、11月の審議会でお示しする予定である。

【議事3】 その他

次回会議の日程について、出席委員の予定を確認のうえ、平成27年6月23日（火）午後の時間帯を第1候補、同月22日（月）午後の時間帯を第2候補とした。

決定後改めて書面にて通知する。

4 閉会（午後3時30分）

以上

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、鴨川市総合計画審議会第3回会議における会議録の内容について確認します。

平成27年6月4日

関 寛之

中山 恵美子
